

調査研究委員会レポート

◆調査専門委員会および協同研究委員会 委員の公募◆

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	工場電気設備の診断・更新に関する課題と将来 展望調査専門委員会 【一般産業技術委員会】		委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 20 年 1 月～平成 21 年 12 月		工場電気設備の診断・更新に関する課題と将来展望に焦点を当て、「現有設備をどうしていくのか」、「これからの設備に対して何を期待するのか」など課題、最新技術動向、将来像について明らかにしていく。具体的には以下検討していく。 (1) 診断・更新に関する現状の課題 (2) 運転・保守データの評価・活用技術の最新動向（センサ技術・データ処理技術・運転データ評価技術） (3) 診断・更新に関する保全管理の将来像	
委員長名（所属）	西村 誠介（日本工業大学）			
委員会開催頻度	6 回／年			
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)	江藤 計介 (出光興産)		山下 泉（東芝三菱電機産業システム）
	電話	0436-60-1744		03-5441-9785
	FAX	0435-60-1961	03-5441-9795	
	E-mail アドレス	keisuke.etoh@si.ide mitsu.co.jp	YAMASHITA.izumi@t meic.co.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	工場電気設備の保全業務に関係のある方			
応募締切	平成 20 年 9 月 30 日			

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	ウェブレットと知識抽出に 関する協同研究委員会 【産業計測制御技術委員会】		委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 20 年 1 月～平成 21 年 12 月		「知識抽出プロセス」のためのウェブレット解析という視点から、知識抽出技術の特徴や理論、ウェブレット解析の分野横断的な適用事例とその実装化技術、さらに、全く新しい見方や知見が得られた事例に関して調査し、整理・紹介する。	
委員長名（所属）	田原 鉄也（山武）			
委員会開催頻度	4 回／年			
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)	田原 鉄也（山武）		
	電話	0466-20-2430		
	FAX	0466-20-2431		
	E-mail アドレス	tabaru-tetsuya@jp.yamatake.com		
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	ウェブレット、信号処理、診断、制御、システム同定、データマイニング、音響処理、生体情報処理			
応募締切	平成 20 年 9 月 30 日			
協同研究委員会の場合の委員の負担			0 円／年	

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	モーションコントロールの先進応用に関する協 同研究委員会 【産業計測制御技術委員会】		委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 20 年 3 月～平成 22 年 3 月		モーションコントロールに関する基盤技術から先進応用技術まで幅広く研究開発の動向、進展を調査します。実際の、具体的な事例を中心にして現状を考察し、今後を展望します。様々な分野や立場からのご参加をお待ち致します。	
委員長名（所属）	柴田 昌明（成蹊大学）			
委員会開催頻度	6 回／年			
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)	柴田 昌明 (成蹊大学)		
	電話	0422-37-3727		
	FAX	0422-37-3871		
	E-mail アドレス	shibam@st.seikei.ac.jp		
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	各種モーションコントロール、メカトロニクスやそれらの知能化や適応・学習等に経験や関心の強い方			
応募締切	平成 20 年 9 月 30 日			
協同研究委員会の場合の委員の負担			1,500 円／年	

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	ナノスケールサーボのための制御技術の共通 基盤協同研究委員会 【産業計測制御技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 20 年 3 月～平成 22 年 2 月	前身の委員会では、ナノスケールの超 高精密・高速サーボ技術全般を広く調査 しました。本委員会では、さらに分野を 横断した技術の共通性を調査し、相互に 活用可能な、制御性能を相乗的に向上さ せるための共通基盤技術についても検 討します。	
委員長名 (所属)	石川 潤 (東京電機大学)		
委員会開催頻度	年 5 回程度		
問合 ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)		石川 潤 (東京電機大学)
	電話		03-5280-3915
	FAX		03-5280-3793
	E-mail アドレス	ishikawa@fr.dendai.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	マストレージシステムや半導体露光装置な ど各種の高速・高精度位置決め制御に従事して いる研究者。これらに関連する制御理論や、ア クチュエータ制御に関連する研究者。		
応募締切	平成 20 年 9 月 30 日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		1,500 円/年	

編集後記

新しい年度が始まりました。会員の皆様におかれましても新たな環境や気持ちで仕事や勉学に励まれていることと思います。

さて、今月のニューズレターでは巻頭言として部門誌編集長の林先生（青山学院大学）より「迅速な査読プロセスを実現するために」と題し、電子投稿・査読システムの利用方法や査読者選定にかかる期間短縮のためのポイントをご提言いただきました。

学界情報では、昨年 11 月に台湾台北市で開催された IECON2007 について東京大学の呉先生より日本人研究者の健闘や会議、座談の様態を詳細にご報告いただきました。特に、東アジア諸国でのロボット産業への注力ぶりがうかがえ、今後ますます日本発のオリジナリティーの高い技術の開発が重要になると思われます。

技術開発レポートでは、グラスゴー大学の Dorrell 先生より海洋発電についてご寄稿いただきました。CO₂ 削減が叫ばれるなか、再生可能エネルギー利用の重要性がクローズアップされるのではないのでしょうか。

研究グループ紹介では、大阪大学大学院伊瀬研究室の電気エネルギーの発生・輸送・変換・制御に関する研究テーマのご紹介をいただきました。

また、8 月に高知で行われる産業応用部門大会および産業応用フォーラム開催のご案内を掲載しております。ぜひ積極的なご参加をお願いします。

最後になりましたが、本号作成において、年末年始のご多忙中にもかかわらず、各記事をご執筆頂きました皆様、ならびに編集作業をいただきました担当委員の皆様へ厚く御礼申し上げます。

エディタ 桂 誠一郎 (長岡技術科学大学)